

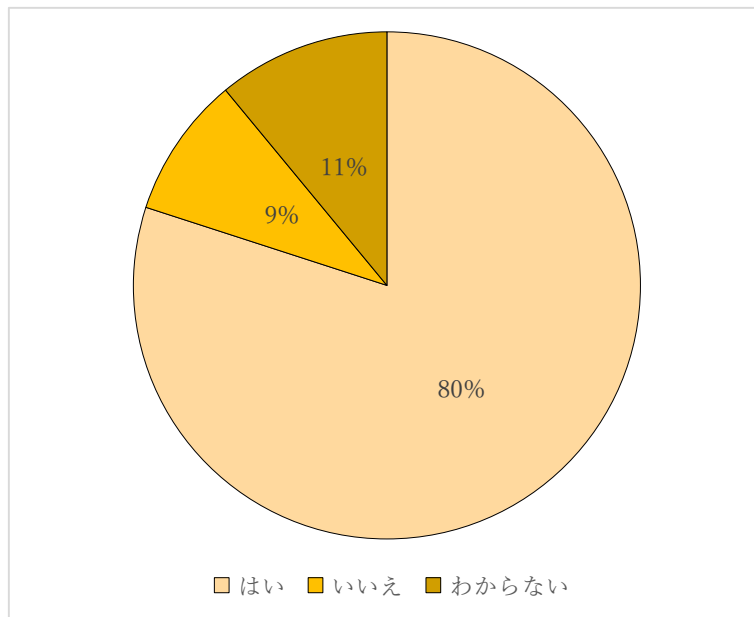
グループワーク事後アンケート結果（令和6年度）

本市では、適切な介護サービスの確保及び介護給付費の適正化を図るため、茨城県介護支援専門員協会との協働によりケアプラン点検を実施しております。その中で、令和6年度から「ケアプラン作成に係る意見交換会」と題し、モデル事例を題材にし様々な視点で学び合うグループワークを実施しています。

この度、令和6年度中にグループワークに参加したケアマネジャーの方々に、事後アンケートを行い、ケアマネジメントにどのような変化が生じたかを聞きました。

参加者 90 名中、回答者 70 名分（回答率 78%）

質問1・・・ケアマネジメントに変化が生じたか。



「はい」の内容

- ・ 本人の生活歴が大事と実感し、詳しく知りたいと思うようになった
- ・ 本人の希望や目標について、時間をかけて具体的に聞くようになった
- ・ 他のケアマネジャーが使用していた表現を参考に自分の言葉に置き換えた
- ・ 日常の過ごし方をより詳しく聞くことで、情報量が増え本人を深く知れた
- ・ 夜間のトイレ回数など、より詳しく情報収集（アセスメント）するようになった

- ・総合的な援助の方針の主語はチームであることを念頭に置いて作成した
- ・新たな視点やアプローチ方法を学び、柔軟にプランニング出来るようになった
- ・「適切なケアマネジメント手法」を活用し、抜け漏れがないかを確認している
- ・「利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果」に変わったが、意向以外の内容を付け加えるようにした
- ・日常的にしている活動や日課について、個別に確認するようにした
- ・事前に配られた「セルフチェック表」を意識しながら業務するようになった

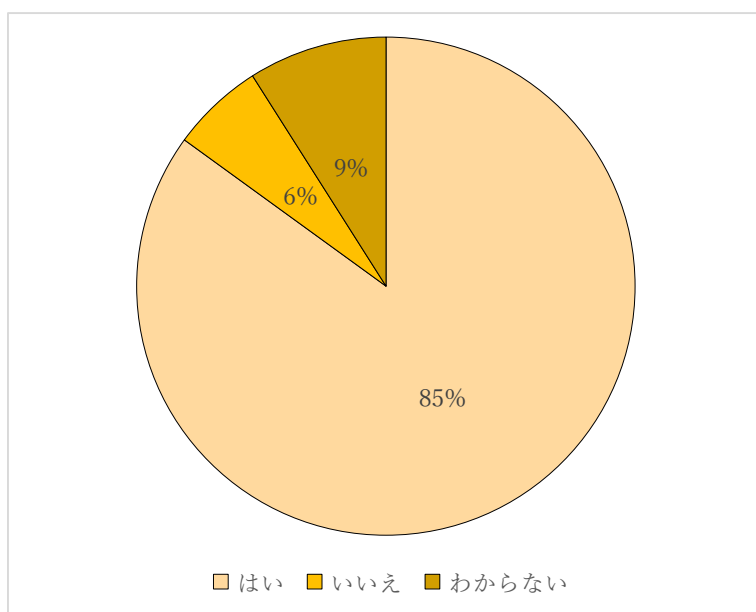
「いいえ」の内容

- ・業務の流れについては普段の状況と大きな差がなかった
- ・事例のようにはいかない
- ・1回の研修で何か変化が生じるとは思えない

「わからない」の内容

- ・困りごとについて丁寧に聞くようにはなったが、変化とまではいけない
- ・業務に追われて振り返る余裕がない
- ・ひとつの視点として意識するようになっている

質問2・・・特に意識するようなことがあったか。



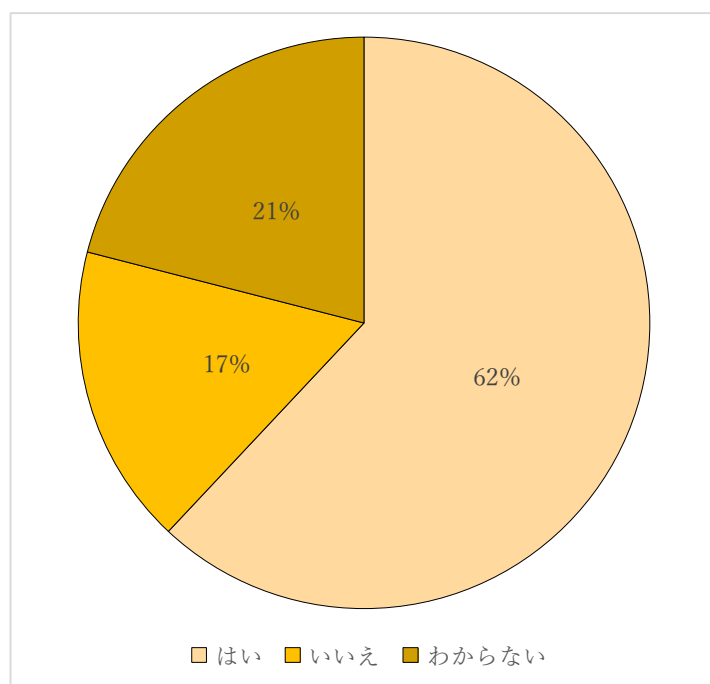
「はい」の内容

- ・会話の中で専門用語を使わないように意識するようになった
- ・細かくアセスメントすることで適切なマネジメントにつながる
- ・個別性をいかに出していくかを意識している
- ・現在の状況だけでなく、サービス利用する前の生活を聞くことも意識した
- ・本人が言ったことをそのまま記入せず、必要なことを盛り込み作成する
- ・基礎資格の違いで意見も異なり、自分が不足している分野が意識できた
- ・本人の希望と自立支援のバランスのとれたプランの組み立て方を意識
- ・自分の思考の偏りが再確認でき改善するようにしている
- ・家族の役割について更に意識するようになった
- ・長期目標は生活像・短期目標は状態像という視点を意識している
- ・ケアプランの第1表・2表・3表の繋がりを意識して進めている
- ・本人の趣味等やってきたことにも注目し、再参加の視点をもつようになった
- ・失敗エピソードを次にどう支援に繋げていくかを考えている
- ・大事な部分に○をつけるなど可視化して伝えるように工夫している

「いいえ」「わからない」の内容

- ・以前とあまり変わっていない
- ・できるだけ早めに対応しているが・・・
- ・これまでの自分の経験値で確立しているものがあるため変わったことはない

質問3・・・多職種との意見交換や見直し・より個別的なケアプランの作成ができたか。



「はい」の内容

- ・今できていることを続ける能力も大切であることを共有した
- ・多職種連携を大事にしていたが、更にその重要性を確信した
- ・医師からの指示内容を共有したり機能訓練の内容を共有した
- ・褥瘡ケースで、栄養士による栄養面での意見やポジショニングの視点を学んだ
- ・自宅での入浴に関して福祉用具専門員・理学療法士・ヘルパーと協働して実現した
- ・再発防止といった疾患別の目標に向けた支援をチームで実現できた
- ・目標を具体的にすることで期間後の評価がしやすくなった
- ・他事業所との連携が密になっている
- ・利用者の穏やかな暮らしを関係機関で共有し、実現に向けて支援している実感

「いいえ」の内容

- ・グループワーク後にそのような機会がなかった
- ・必要時には都度やっているので特に考えたことはない
- ・まだまだ学びが足りないと感じている
- ・プランニング力を向上させる必要があると感じている

「わからない」の内容

- ・個別性は意識するようになった
- ・多職種連携について意識のない事業所もある
- ・自分流に戻ってしまう感がある
- ・個別的な作成を心がけるようになったが多職種との頻度は変わらない
- ・意見交換の頻度は少なかった
- ・以前よりは心がけているつもりだが十分ではない
- ・多職種連携なしでは繋がらないため従来から日々行っている
- ・本人だけでなく家族についても俯瞰して考える必要がある

質問4・・・利用者や家族に説明した際に反応はあったか。

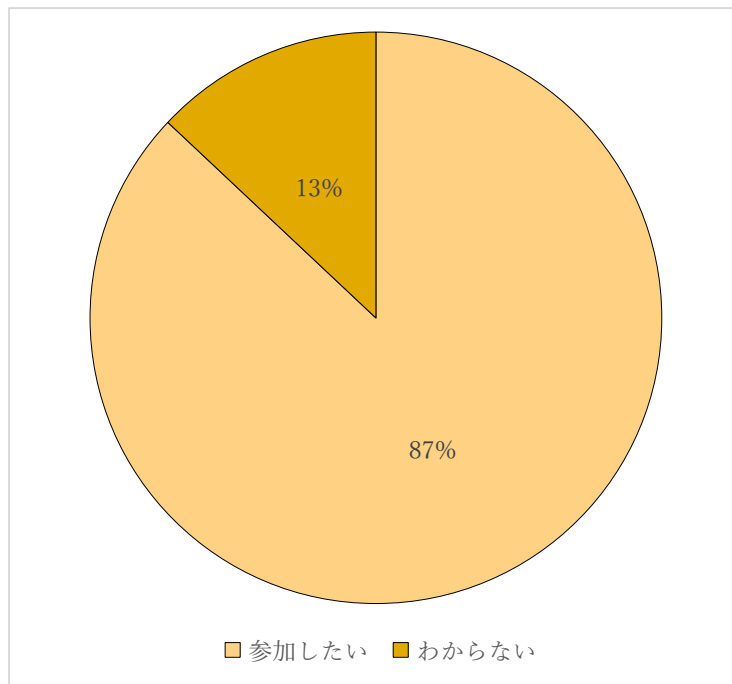
- ・本人が取り組むことや気をつけることを書いたことで納得や理解に繋がった
- ・「そのプランにしたら楽になります、助かります」と家族に言われた
- ・直接意見や感想を言われることはない
- ・まずは「分かりやすく」が大事だと実感している
- ・意向部分での共有がチーム内で行いやすくなった
- ・家族としてやるべきことがあるのだと理解してくれるようになった
- ・丁寧に説明するようになったので逆に質問されることが多くなった

- ・意向や目標、ニーズなどについて「その通りです」と言っていただいた
- ・ケアプランの内容が具体的に変わったと言われるように作成していきたい
- ・しっかり考えてくれていると納得感をもっていただけるようになった
- ・ケアプランの内容が分かりやすくなったとの言葉があった
- ・「なるほど、確かにそうです」と言われた
- ・チーム一丸となって支援しています！の思いが通じた
- ・内容を具体的にしたり援助内容を追加したが特に反応なかった
- ・第2表「サービス内容」を確認してくれる利用者が増えてきた
- ・前向きな言葉が多くなり説明時に納得してくれる利用者が増えた感じ
- ・プランの内容が家族にも確認してもらえるようになった
- ・目的に向けてチームで支援していると分かってくれるようになった
- ・これなら出来そう！と意欲向上につながっている
- ・分かりやすい言葉を意識したことで「良く分かった」との意見いただけた
- ・生活に対する意向を具体的に表現したことで分かりやすくなったと言われた
- ・専門的な意見を共有することで以前より内容を納得していただけた
- ・目標を具体的な数値で表すことで（血糖値や血圧）意識づけになった
- ・本人も目標などを理解しやすくなりモチベーション向上に繋がった
- ・内容に興味を示す方もいるが未だにサービスありきの方も多い

質問5・・・これから変えていこうと考えていること

- ・ケアプラン第3表の記載の仕方（本人だけでなく家族の生活も分かるようにしたら良い）
- ・相談しやすいと感じてもらえるよう良好な関係性を心がけたい
- ・家族だけでなく、本人がよく会う友人等にも話を聞くようにしたい
- ・今後必要になるサービスも予測しながらケアマネジメントを行う
- ・利用者や家族の思いを引き出せるコミュニケーション力を身につけたい
- ・目標やサービス内容を考える際に疑問をもつようになりたい
- ・なぜそのサービスを利用しているのかを利用者自身が理解してくれる
- ・自己覚知を高めることで日々の業務を見直していく
- ・日々の業務が勇み足になっていたので丁寧な支援を心がけたい
- ・事業所間での連携（デイケアとデイサービス等）意識をもてるよう働きかける

質問6・・・再度グループワークに参加したいか



「参加したい」の内容

- ・他事業所と交流でき様々な意見が聞けることが有意義だった
- ・以前の個別的な点検は緊張したので今回の和気藹々とした雰囲気は良かった
- ・経験の浅いケアマネ・ひとりケアマネには有効な機会
- ・今回の方式だとフランクに意見が出せるので助かる
- ・基礎資格で考え方が違うので支援方法を勉強したい
- ・ファシリテーターから教えてもらったことがとても参考になった
- ・自分のレベル・技術向上のためになる
- ・オンライン研修が多いが顔の見える研修はやはり良い

「わからない」の内容

- ・モデル事例では机上の空想的で現実感がない